

宇都宮市立古里中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学び合いを通した確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書いてまとめ、発表する活動の重視 ・「学び合い」により、個々の考えを練り上げる活動の重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定的回答は1年生80.7%、2年生76.3%、3年生84.7%。1、3年生は市と同等、2年生は低めであった。 ・「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」の肯定的回答は1年生64.2%、2年生72.8%、3年生78.8%。学年があがるにつれ高くなっている。
ICTの活用を通し、わかる授業、興味がわく授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した指導法の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」生徒は1年生は53.2%、2年生は70.2%、3年生は74.6%と1年生が低めであった。 ・「パソコンを使って、相手にわかりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」は、3学年とも市の平均を上回った。

★市の結果を踏まえての次年度の方向性

・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定的回答は全学年で平均すると80%程度であった。今後も継続して、「主体的・対話的な『学び合い』を通した確かな学力の育成を目指した指導法の工夫」に取り組む。生徒が話し合いに積極的に参加して効果的な「学び合い」ができるように、生徒の語彙力や言語能力の向上を図るとともに、学習内容に適した学習形態を工夫するなど指導技術の向上をめざす。また、パソコンを使ったプレゼンテーションを通して、自分の考えをまとめ伝える力を一層高めていく。

・情報端末の導入にあたって、ICT機器を活用した指導法の工夫が一層求められるため、相互授業参観や要請訪問を通して教師の研修の充実に努める。